

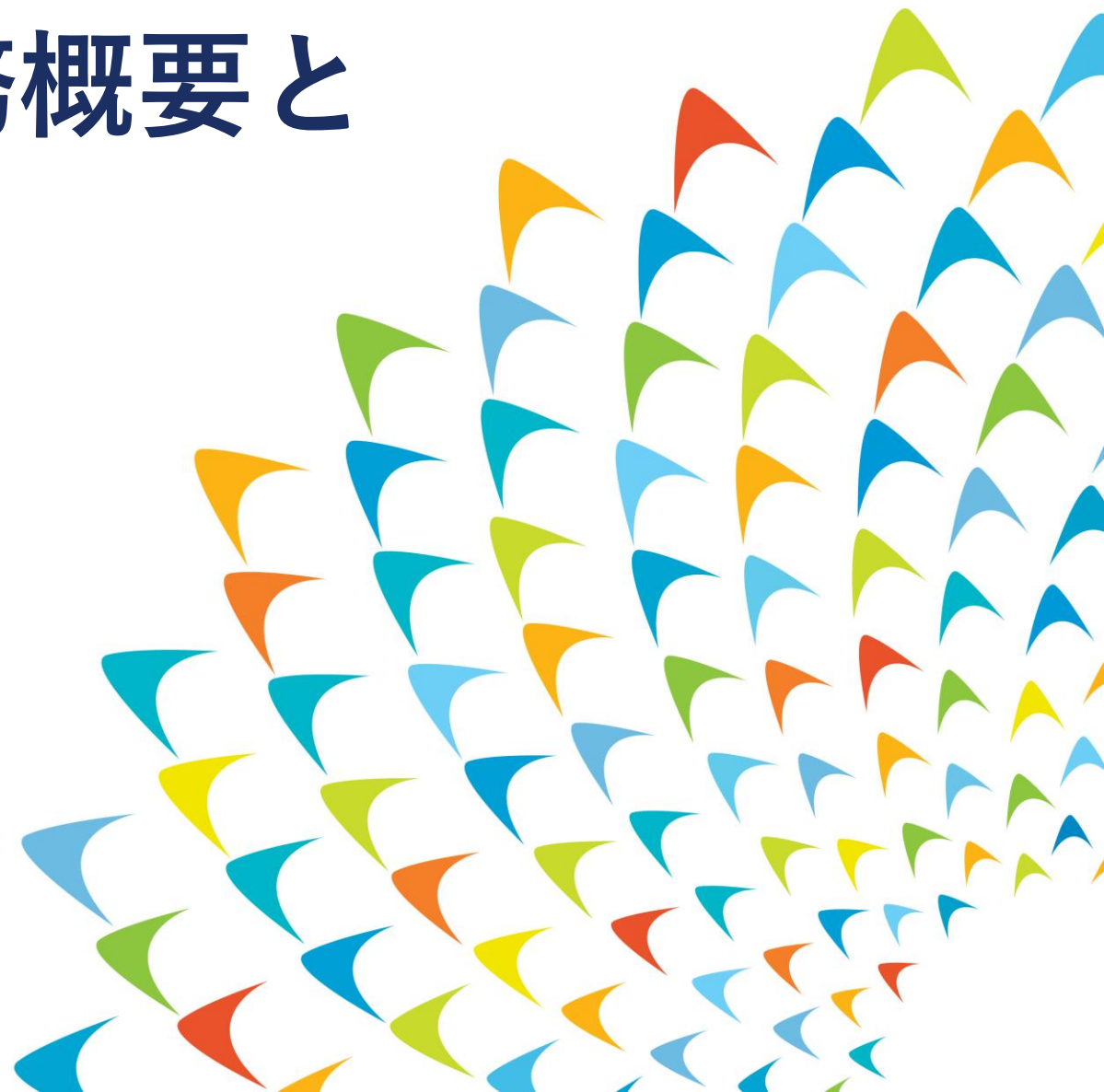
The views expressed in this presentation are the views of the author/s and do not necessarily reflect the views or policies of the Asian Development Bank, or its Board of Governors, or the governments they represent. ADB does not guarantee the accuracy of the data included in this presentation and accepts no responsibility for any consequence of their use. The countries listed in this presentation do not imply any view on ADB's part as to sovereignty or independent status or necessarily conform to ADB's terminology.

アジア開発銀行の業務概要と ビジネス機会

アジア開発銀行
駐日代表 田村由美子

2024年12月

ADB



アジア開発銀行（ADB）の基礎データ

- 本部 フィリピン マニラ
- 設立 1966年
- 加盟国 69カ国・地域（域内国：49、域外国：20）
原加盟国：31（域内国：19、域外国：12）
- 駐在員事務所 40か所以上（うち4か所は非支援対象国・地域）
- 職員数 4,031人（うち国際職員1,453人）
- 主な役割 アジア太平洋地域の途上国の発展を支援するため、以下を行う
 - 1) 資金と知識の提供
 - 2) より良い政策の促進
 - 3) 地域協力・友好の推進
- 資金源 加盟国からの出資（払込・請求払資本金）、債券発行（トリプルA）、加盟国からの拠出金（アジア開発基金や特別基金）、所得



ADB 戦略2030：アジア太平洋地域の様々なニーズに対応

2018年承認、2024年見直し

ADBのビジョン

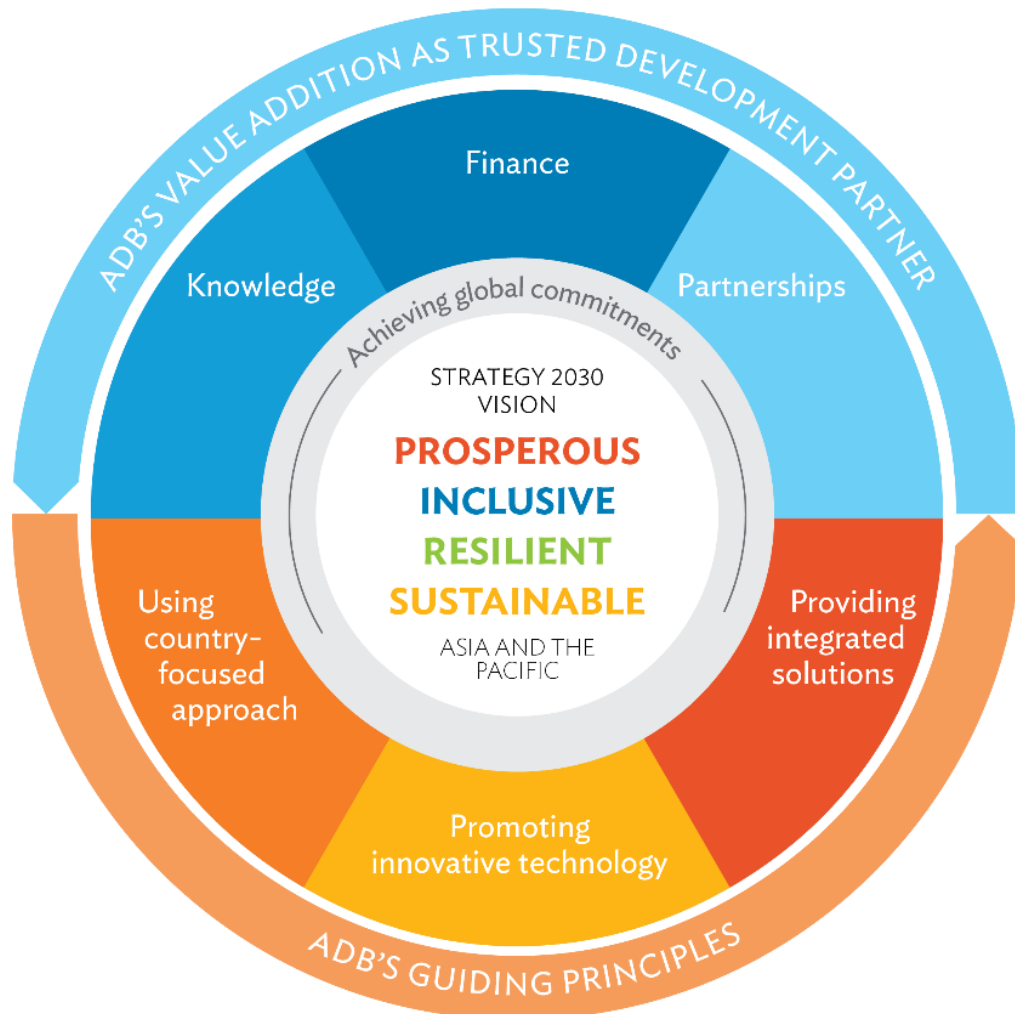
絶対的貧困の撲滅に向けた努力を継続しつつ、豊かで(Prosperous)、包容力があり(Inclusive)、災害等のショックに強靱で(Resilient)、持続可能な(Sustainable)アジア・太平洋地域を実現する

ADBが提供する付加価値

- 資金
- 知識
- パートナーシップ

ADBが拠って立つ原則

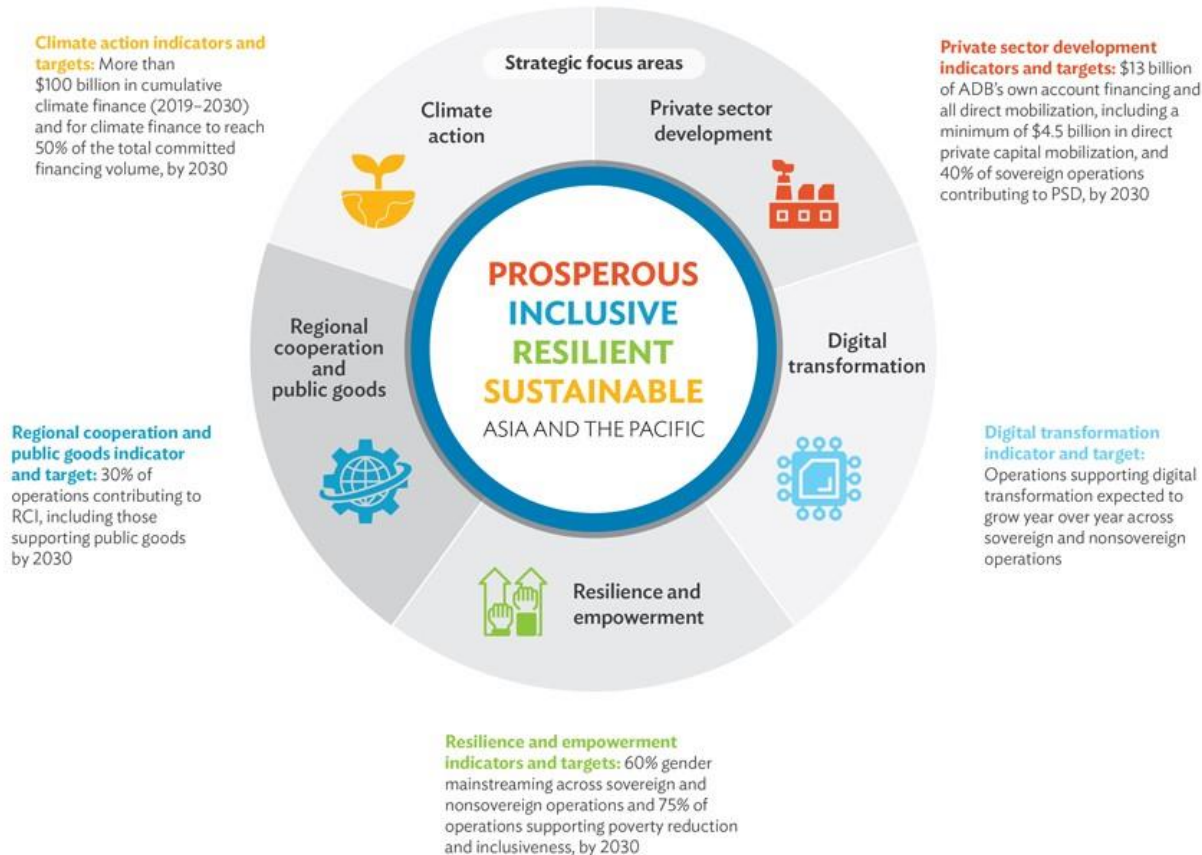
- 途上国の状況に即した支援
- 革新的技術の積極的な活用
- 多様な専門性を統合して総合的な解決策を提供



戦略2030：5つの戦略的優先分野

STRATEGY 2030 MIDTERM REVIEW: A SNAPSHOT

Solving challenges together,
connecting the region, and empowering people
for dynamic economies and a healthy planet



1. Climate action
2. Private sector development
3. Regional cooperation and public goods
4. Digital transformation
5. Resilience and empowerment

支援方法とサービス

ADBは以下のような方法により、ADBの開発途上加盟国を支援しています

融資、保証、出資、グラント、助言サービス

公共部門向け
資金支援

民間部門向け
資金支援

技術協力 (TA: Technical
Assistance)

案件助言サービス
(TAS: Transaction
Advisory Services)

支援資金源

- OCR (Ordinary Capital Resources: 通常資本財源)
- 譲許的OCR
- アジア開発基金 (ADF: Asian Development Fund)
- 技術協力基金、特別基金、その他の信託基金など
- 協調融資

- 知識 (ナレッジ) サービス
- 能力構築支援
- 政策対話
- “中立的仲介者”

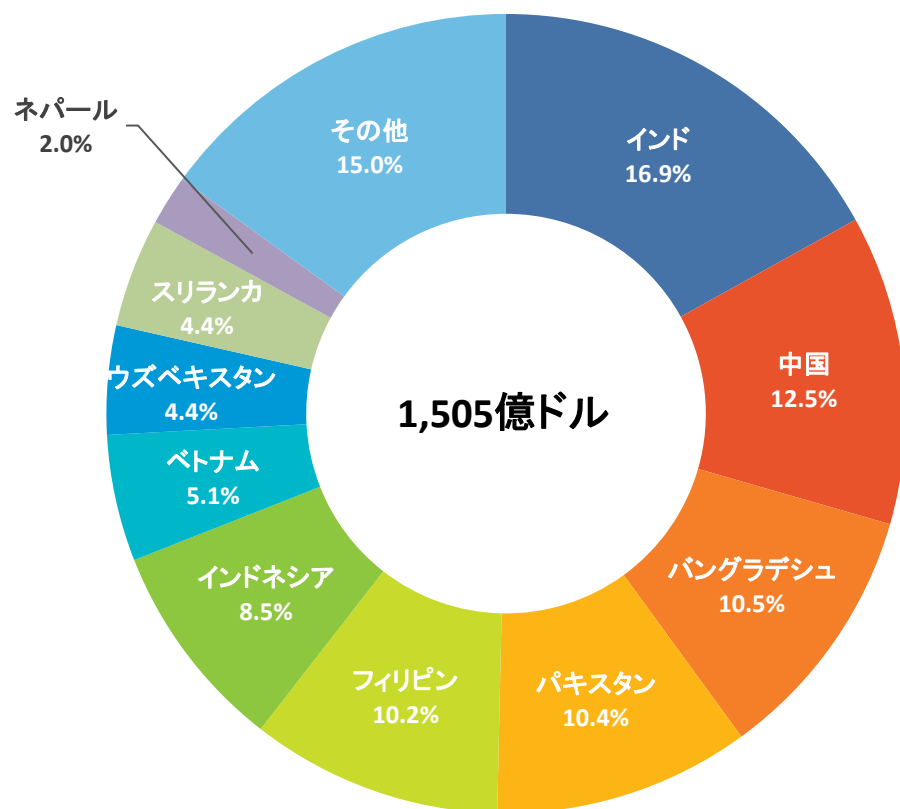


ADBの業務実績：融資残高（2024年6月末時点）

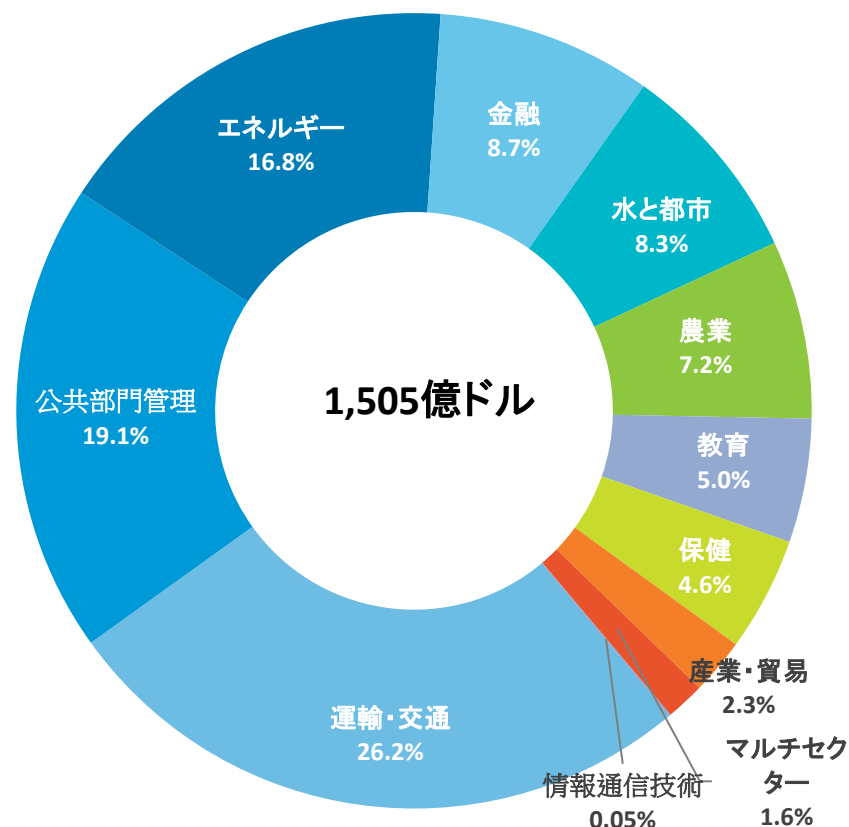
通常資本財源（OCR）

2024年6月末時点の融資残高は2023年6月末時点の1,485億ドルから1,505億ドルに増加

国別内訳



セクター別内訳



注:

1. 民間セクター向けプログラムを除く。
2. データは、貸倒損失と公正価値調整の合計7億7,700万ドル及び直接融資の純未償却コストの2億3,900万ドル)を除く。

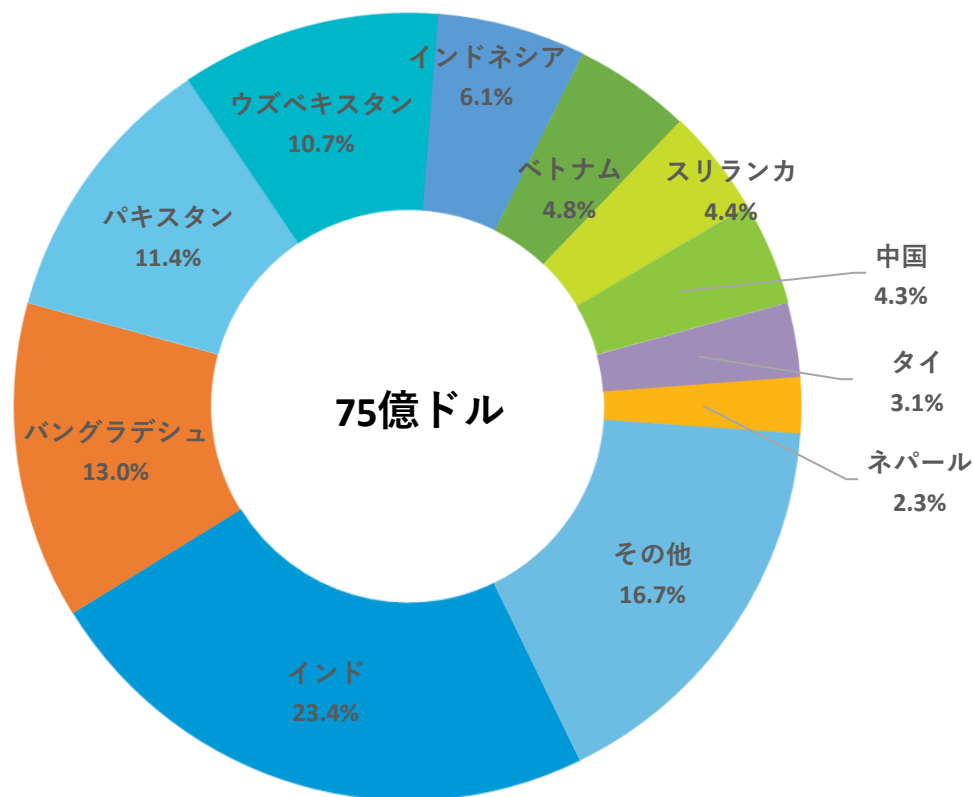


ADBの業務実績：2024年9月25日現在の契約締結額

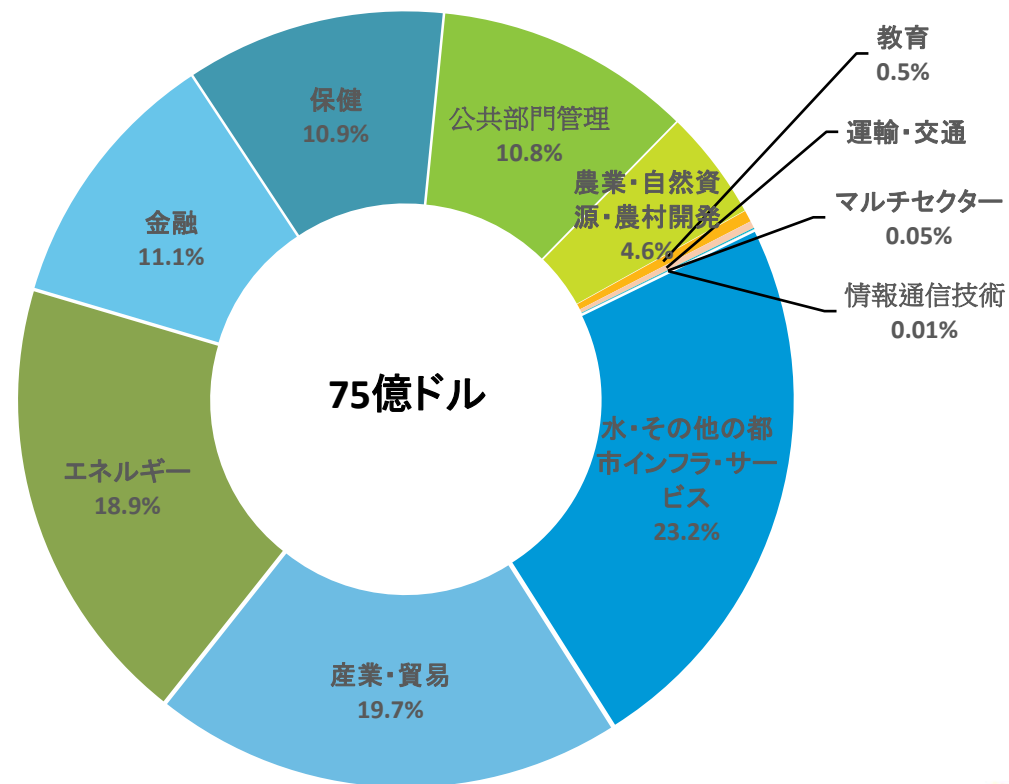
通常資本財源（OCR）、アジア開発基金（ADF）、特別基金

2024年の契約締結額：75億ドル（前年：82億ドル）

国別内訳



セクター別内訳

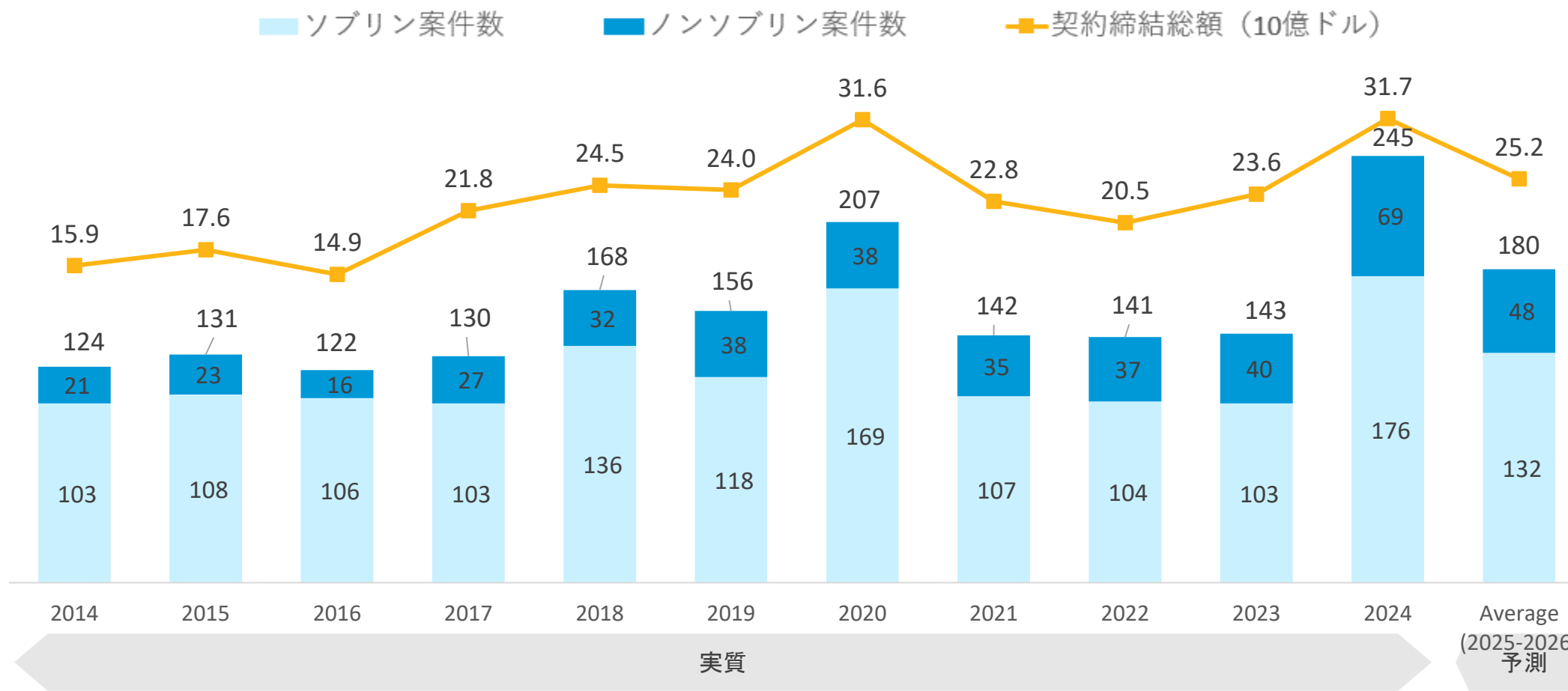


注:

融資、グラント、出資、保証案件、技術協力から成る。2020年以降は、民間セクター向けプログラム（貿易・サプライチェーン金融プログラムとマイクロファイナンス・リスク参加保証プログラム）を含む。

契約締結額の推移と予測（2014年～2026年）

通常資本財源（OCR）、アジア開発基金（ADF）、特別基金（単位：10億ドル）



出典: Asian Development Bank.

注：融資契約締結（コミットメント）額とは、ADBの理事会あるいは経営陣により承認された上で、借り手（政府あるいは企業）とADBとの間で法的な取極めが署名された融資の総額を指す。理事会承認額と融資契約締結額は同一である場合もあれば、為替レート変動により金額が異なる場合もある。

2024年から2026年の予測値はADBの各地域局から提出されたデータ及びADB Work Program and Budget Framework (WPBF) 2024-2026に基づく。



ADBの役割と支援方法

- 公共セクター向け融資業務
- グラント（無償資金）供与
- 保証業務
- 民間セクター向け投融資
- 官民連携支援
- 技術協力
- 知識サービスの提供
- 協調融資
- 政策対話や能力構築
- “中立的仲介者”（Honest broker）

2023年の実績：総額236億ドル

公共セクター向け融資：195億ドル
民間セクター向け投融資：38億ドル
技術協力：2.6億ドル



ADBが提供する様々な融資や支援ツール（ソブリン）

- プロジェクト融資 (Project loan)
- セクター融資 (Sector loan)
- マルチトランシェ融資ファシリティ (MFF: Multitranche Financing Facility)
- 政策支援型融資 (PBL: Policy-based Lending)
- セクター開発プログラム (SDP: Sector Development Program)
- 成果連動型融資 (RBL: Results-based Lending)
- 緊急支援融資 (EAL: Emergency Assistance Loan)
- 金融仲介型融資 (FIL: Financial Intermediation Loan)
- プロジェクト準備融資 (PRF: Project Readiness Financing) と小規模支出融資ファシリティ (SEFF: Small Expenditure Financing Facility)
- 政治的リスクと信用リスクに対する信用補完 (Credit Enhancement for political risk and credit risk)
- 案件助言サービス (TAS: Transaction Advisory Services)



日本企業の調達実績（2023年末時点）

融資、グラントおよび技術協力プロジェクトの調達契約における日本の割合

機材、工事および関連サービス

項目	金額 (単位:百万ドル)	ADB全体に占める 比率(%)
2022年	24.39	0.15
2023年	0.60	0.00
累計額(2023年12月末現在)	3,600.94	1.38

コンサルタント・サービス

項目	金額 (単位:百万ドル)	ADB全体に占める 比率(%)
2022年	17.84	3.22
2023年	30.93	5.83
累計額(2023年12月末現在)	713.58	4.45

調達合計

項目	金額 (単位:百万ドル)	ADB全体に占める 比率(%)
2022年	42.23	0.25
2023年	31.53	0.22
累計額(2023年12月末現在)	4,314.52	1.56



More information is available at

<https://www.adb.org>

<https://www.adb.org/ja/offices/japan/main>

Contact JRO at adbjro@adb.org

Follow ADB:



ADB

